

**平成28年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

平成28年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科の実施となりました。

国語と算数の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	72.9%				○	
国語B	57.8%		○			
算数A	77.6%			○		
算数B	47.2%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	79.2%					○
書くこと	72.8%			○		
読むこと	78.5%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.1%				○	

【考察】

- 自分の書いた文章を相手が読んで分かりやすいかを考え、より良いものを書き直すためのポイントに気付くことができなかった児童が見られました。分かりやすい文章にするためには、書く人の考えがはっきり分かるように事実と意見を分けて書くことや、内容を考えて、読みやすい段落に分けて書くことを指導し、授業や400字作文などの短作文練習で身に付けさせていきます。
- 物語のどの部分が登場人物を知る手がかりになるのかを見つけられなかった児童が多かったです。授業では、登場人物の様子が分かる文や言葉に印を付けたり線を引いたりし、それらの内容を関係付けながら登場人物のことを正しくとらえ、ノートにまとめられるように指導していきます。
- 漢字の読み書きでは、正答率が高いものとそうでないものがありました。漢字の学習の仕方を工夫して、確実な定着を目指していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	51.1%	○				
書くこと	53.4%		○			
読むこと	69.3%			○		

【考察】

- インタビューの方法や質問者の質問の意図をとらえることができない児童が多かったです。国語の授業だけでなく、他教科や日常の場面においても、相手のことを考えながら質問をする場面を作り、話の展開に沿って自分の考えを発表したり、疑問に思うことを質問したりすることができる子どもを育てていきます。
- 文章と関連付けながら、資料のグラフや表の意味を正しくとらえることができない児童がいました。図や表、グラフなどから目的の情報を読み取る指導をし、正しく理解できるようにするとともに、それらを生かした400字作文の書き方も指導していきます。
- 目的に応じて、たくさんの本や文章を読んだり、様々な本を比べて読んだりする力がついています。国語の授業を中心に、複数の本に親しむことができるようにしてきた成果であると考えます。今後も、学校図書館の利用を増やしたり、読書の時間を作ったりしながら、読書力をつけていきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	80.5%				○	
量と測定	77.0%					○
図形	78.8%				○	
数量関係	68.5%			○		

【考察】

- 基本的なたし算・ひき算・かけ算の計算はよく理解しています。一方で、わり算の確かめ算、小数のわり算や大小を比較することに課題がありました。計算の結果の見積もりや確かめの習慣を身に付け、より正しく計算ができるように繰り返し指導していきます。
- 三角定規を組み合わせて図形を作ることについてはよく理解していました。一方で、立体の垂直になっている面を見付ける問題では課題がありました。具体物を用いて確認したり、展開図や見取図に表したりする活動を取り入れ、立体の辺や面の位置関係を理解できるように授業内容を工夫していきます。
- 具体的な生活場面をもとにした割合の問題では、式に表すことに課題がありました。場面を式に表すためには、できる限り簡単な数字で考えたり、場面を簡単な図などに表して捉え直したりすることを指導し、分かりやすく考えられるように授業内容を工夫していきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	44.4%					○
量と測定	43.7%		○			
図形	36.3%			○		
数量関係	42.9%				○	

【考察】

- 四則計算のきまりはとても良く理解しています。今後も、身に付けた計算能力を生活や学習に活用できるよう、授業や白一タイム（定着の時間）と、家庭学習の内容が連動するように指導を工夫していきます。
- 資料から学校ごとの1人あたりの本の貸出冊数を求める問題に課題がありました。表や折れ線グラフから、自分に必要な情報を集めたり、整理したりして、正しい判断ができるように、表やグラフの読み取り方やかき表し方を指導していきます。
- 三角形の特徴はよく理解していました。一方、円の性質をもとに円の半径について答える問題に課題がありました。用紙の大きさやその中にかく円の数などの条件を示して、用紙の大きさと半径の関係を考えさせるなど、さまざまな場面、条件を設定して、円を作図する経験をたくさんさせていきます。
- 4台目のハードルの位置を求める問題に課題がありました。問題場面を正しく把握するために、示された条件を基に問題場面を図で表し、説明し合う活動を繰り返し行い、正しい式を導くための方法を身に付けることができるように指導します。

平成28年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取り組むや読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	白一小	1.7	19.0	48.3	24.1	6.9	0.0
6	全国	10.8	14.7	37.0	25.4	8.9	3.0

(単位 %)

【考察】

- 本校では、6年生の家庭学習の目標とする目安時間は80分間です。多くの児童は、家庭で目安時間程度、出された課題や自主学習など工夫して取り組んでいます。
- 家庭学習が1時間未満の児童に対して、「家庭学習・生活ノート」を活用して、どの時間に、どんな内容を、どのように取り組むか具体的に指導し、家庭学習の習慣化や質的向上を図っていきます。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえはしている	あまりしていない	全くしていない
小	白一小	27.6	50.0	17.2	5.2
6	全国	26.7	35.5	28.8	9.0

(単位 %)

【考察】

- 「家庭学習・生活ノート」を効果的に活用することで、計画的に学習に取り組んでいる児童が多くなってきています。
- 今後は、学校で学習した内容の復習だけでなく、手本となるノートを示したり、中学校の自主学習の方法を示したりして、自分の苦手な内容の補強や、これから学習する内容の予習など、工夫して取り組めるようにしていきます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	白一小	5.2	3.4	27.6	34.5	15.5	13.8
6	全国	6.8	9.9	19.8	27.0	15.9	20.6

(単位 %)

【考 察】

- 読書時間が少ない児童に対して、朝の時間に本を借りる時間の設定をしたり、授業との関連図書の紹介をしたりして、読書への抵抗感をなくし、本に対する興味関心を高めるようにしていきます。
- ノーメディアの取組を生かし、家庭での時間の使い方を見直し、読書時間の確保を呼びかけていきます。

4 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全くしない
小	白一小	8.6	12.1	22.4	25.9	22.4	8.6
6	全国	8.2	7.8	13.7	25.3	31.1	14.0

(単位 %)

【考 察】

- 家庭で2時間以上ゲームしている児童が、昨年より増加傾向にあります。ノーメディアデーの取組と関連させながら、家庭でのルールの設定や時間の使い方について、保護者と連携しながら、見直しを図っていきます。
- 就寝時刻とも関連があると思われるので、学年便りや学校便り、保健便り等で家庭の理解と協力をお願いし、「家庭学習・生活ノート」への就寝時刻の記入欄等を活用したりして、より良い生活リズムの定着を目指します。

5 自分には、よいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば 当てはまる	どちらかといえ ば 当てはまらない	当てはまらない
小	白一小	19.0	48.3	22.4	10.3
6	全国	36.2	40.1	16.2	7.4

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、教師が児童の良さを認め、児童同士も良さを認め合う活動を積極的に行っています。その積み重ねで、自己肯定感を高め、自信をもって物事に取り組む児童が徐々に増えてきています。今後も、子どもたちが、自分の良さを自覚できるような「ほめる教育」の実践を継続していきます。